

- (1) 同志社女子大学を志望校・受験校と決めた理由。

「音楽を学べる総合大学」というところに魅力を感じ、オープンキャンパスへ参加しました。実際に学校の雰囲気を感じ、素敵な学校だと思い志望しました。

- (2) 一般入試対策としての受験勉強の進め方について。

〔1学期〕

部活動に所属しているために、放課後や休日にほかほか勉強時間を多く確保することができませんでしたが、部活動の後に学校の学習室へ寄って課題をしたり、電車など通学中に英単語や古典単語を覚えていたりなど、空き時間に少しずつ学習し、勉強の習慣をつけていきました。

〔夏休み〕

本格的に受験勉強をはじめました。英語は基礎が固まっているから、単語と文法の確認、わかりやすい長文読解を毎日少しずつ取り組みはじめました。夏休みの学習の8割〜9割は英語を勉強しました。残り1割〜2割は日本史を勉強しました。ほとんど何も覚えていなかったから、教科書を読みながら問題集を解き、基本的な事柄から覚えていきました。国語は元々得意だったので夏休みは一切勉強しませんでした。

〔2学期〜入試直前〕

2学期に入り、古典単語を覚えはじめました。個人的には英単語よりも覚えやすいと感じ、単語を覚えるに比べてほぼ文章が読めるようになっていたので、苦手でなければ古典学習は焦る必要はないと思います。英語は夏休みから引き続き文法と単語を問題集を何冊もして勉強しました。12月から学校でセンター対策の予想問題を解く特別時間割に入るので、問題を解き、答え合わせをやる、という繰り返しでした。同志社女子大学の入試ではセンター試験を利用しませんでしたが、特に勉強の仕方を変えたりはしませんでした。ある程度の基礎が固まってから過去問を解くといいと思います。焦る必要はないです。

- (3) この一年間の受験生活において、受験勉強と高校の行事やクラブ活動の両立、健康面での注意、テレビやスマートフォン等との付き合い方、スランプとその対処法について。

クラブ活動をしている人は、引退してからすぐに切り換えられるように、休日時間など少しずつ勉強する習慣をつけていくといいです。少しずつ慣れていくと、後々勉強するやる気が出てくるという状況に陥ってしまふときに、切り換えがずっとできるようになります。ほかほかするのは点数が上がらず、つらく感じることもあるかもしれませんが、コツコツと続けていけば必ず結果はついてくるので、めざめざ、周りに流されるがんばってください。

- (4) 受験を終えて、受験生のみなさんへのメッセージ。

受験というと、勉強さえしていればいいと思う人が多いと思いますが、普段の生活面からしっかりしている人が最後には勝つ。周りに流される、やるべきことを見極めてください。残りの学校生活を楽しくつ、勉強がんばってください！応援しています😊